

伊藤松字 いとうら 俳人。安政六年十月十八日信濃國生れ、昭和十八年二月二十五日歿（八五九―一九四三）。本名半次郎。別號左翼雙、異雙、松字居士、松字山人、楊琴書屋主人、歲寒子、牛門隱士、琴聲、雪操居士等。父伊藤洗耳、加部琴堂の學ぶ。明治二十六年正岡子規、内藤鳴雪等を加はつて雑誌『俳諧』を創刊、新派俳誌の嚆矢となる。二十九年角田竹冷等の秋聲會に参加。四十四年『いひはり』（のち『筑波』と改題）創刊主宰。また古俳書の蒐集、俳諧史の研究なども著す。

編著書 『中興俳諧五傑集』全二冊（編、上巻、下巻・明治二十二年八月十一日春陽堂）、『夏爐冬扇（附録花の下露）』（合著・松田寛熊編、明治二十四年八月）二十四日俳諧發行所『俳諧叢書』、新編 几董附合集』（編、明治四十一年五月十二日博文館）、題類 芭蕉七部集』（編、大正十年十一月一日町田書店）、『松字家集』（大正十五年一月一日友田泰信堂）、『俳書集覽・第一卷』（考人共解題、大正十五年十一月二十日松字家集發行會）、『芭蕉七部集』（校訂、昭和二年八月一日岩波書店『岩波文庫』）、『芭蕉作と其の細道―その他』（校訂、昭和二年七月十日岩波書店『岩波文庫』）、『蕪村七部集』（校訂、昭和二年一月十五日岩波書店『岩波文庫』）、『風俗文選』（校訂、昭和二年七月十五日岩波書店『岩波文庫』）、『下谷上野』（合著・久保田金徳編、昭和四年四月一日松坂屋）、『芭蕉の筆』中甲子吟行

（解題、昭和七年一月）二十五日明治書院）、『元隣著』中寶藏』（解題、



蕪村几董附合集

昭和七年一月、千五百明治書院）、
『俳諧七部大集』（巖谷川波、橋本小舸共編）

編輯註・俳文學大系刊行會編、昭和九年七月十五日大阪・大文館書

店）、
『俳諧雜筆』（昭和九年十一月二十日明治書院）、
『俳句作法

講座・第二卷』（合著・山本三生編、昭和十年十一月二十日改定社）

等。